



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	34-2711-9	版	6.00
発行日	2023/04/05	前発行日	2021/03/18

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

3M<sup>™</sup> コンパウンド カット・1-L 5967

#### 3M スtockナンバー

JC-1700-1042-8      JC-1700-2351-2

7010600128

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

自動車

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	オート・アフターマーケット 製品事業部技術部
電話番号	042-779-2185

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

誤えん有害性： 区分1

発がん性： 区分1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分1

特定標的臓器毒性（反復ばく露）： 区分2

水生環境有害性 短期（急性）： 区分3

水生環境有害性 長期（慢性）： 区分3

#### GHSラベル要素

注意喚起語

危険

シンボル  
健康有害性

ピクトグラム



#### 危険有害性情報

H304	飲み込んで気道に侵入すると生命に危険のおそれ
H350	発がんのおそれ
H372	長期あるいは反復ばく露による臓器の障害： 呼吸器
H373	長期ばく露又は反復ばく露による臓器障害のおそれ： 呼吸器
H412	長期継続的影響により水生生物に有害

#### 注意書き

#### 安全対策

P201	使用前に取扱説明書を入手すること。
P202	安全上の注意事項をすべて読んで、理解するまで取り扱わないこと。
P260	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
P280E	保護手袋を着用すること。
P270	この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P273	環境への放出を避けること。

#### 応急措置

P331	無理に吐かせないこと。
P301 + P310	飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。
P308 + P313	ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師の診察／手当てを受けること。
P314	気分が悪いときは、医師の診断／手当てを受けること。

#### 保管

P405	施錠して保管すること。
------	-------------

#### 廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

#### その他の有害性

可燃性粉塵濃度に達することがある。

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
水	7732-18-5	35 - 45
カオリナイト	1318-74-7	1 - 10
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	0 - 5
グリセリン	56-81-5	1 - 5
伊利水雲母	12173-60-3	1 - 5
オレイン酸	112-80-1	1 - 5
ポリエチレングリコール ソルビタン モノオレート	9005-65-6	0 - 5
石油系溶剤	64742-14-9	15
水素化軽質石油留分	64742-47-8	2.5
シリカ	7631-86-9	27
ソルベントー精製重質パラフィン系石 油蒸留物	64741-88-4	1.6
トリエタノールアミン	102-71-6	0.37

### 4. 応急措置

#### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

石鹸と水で洗浄する。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

多量の水で洗浄する。症状が続く場合には、医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

無理に吐かせない。直ちに医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

### 5. 火災時の措置

#### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

#### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

粉塵は爆発性混合気を生じることがあるので、浮遊粉塵を生じるような方法で消火しない。

### 消火作業者の保護

消火作業者への特別な防御措置は予想されない。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。漏えいした場合、着火源を除去すること。新鮮な空気での場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。大量の場合には、下水設備や水施設に流入するのを防止する為に、排水溝にカバーし、土手をつくる。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。ベントナイト、バーミキュライトあるいは市販の無機吸収剤を用い、漏洩物の周囲から内側に向けて覆う。漏洩箇所が乾燥するまで十分に吸収剤を混ぜ合わせる。吸収剤を加えても物理的危険性や健康および環境影響に関する有害性を有することに留意する。漏洩した物質を出来る限り多く回収する。粉塵の空気中への放出を避ける。(圧縮空気によるブロー等) 粉塵の発生をさけるために電気掃除機を使う。注意：モーターは着火源になり得る。密閉容器に収納する。有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用して残留物を清掃する。新鮮な空気に換気する。溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。容器を密封する。回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

工業用又は業務用。消費者用途への販売、使用禁止。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。この製品を使用するとき、飲食又は喫煙をしないこと。取扱後はよく洗うこと。環境への放出を避けること。指定された個人保護具を使用する。加工中に可燃性粉塵が発生することがある。粉塵は着火源があると爆発することがある。可燃性粉塵が蓄積しないように定期的に清掃する。移送や混合により帯電すると点火源となる。アース接地、接合、低速・短距離輸送などの低エネルギー輸送法、不活性環境などの注意喚起の必要性を検討する。

### 保管

熱から離して保管する。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の

許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
トリエタノールアミン	102-71-6	ACGIH	TWA : 5mg/m <sup>3</sup>	
不溶性アルミニウム、化合物	1318-74-7	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 1mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
カオリナイト	1318-74-7	JSOH OELs	TWA (総粉じんとして) (8時間) : 2 mg/m <sup>3</sup> ; TWA (吸入性粉じんとして) (8時間) : 0.5 mg/m <sup>3</sup>	
鉍物油、高精製油	64741-88-4	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	64741-88-4	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
オイルミスト、ミネラル	64741-88-4	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
鉍物油、高精製油	64741-89-5	ACGIH	TWA (吸入性分画) : 5 mg/m <sup>3</sup>	A4 : ヒトに対して発がん性物質として分類できない物質
鉍物油、高精製油	64741-89-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
オイルミスト、ミネラル	64741-89-5	JSOH OELs	TWA (ミストとして) (8時間) : 3 mg/m <sup>3</sup>	
ジェット燃料 (非エアロゾル)、トータル炭化水素蒸気として	64742-47-8	ACGIH	TWA (トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして) : 200 mg/m <sup>3</sup>	A3 : 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性
ケロシン (石油)	64742-47-8	ACGIH	TWA (トータル炭化水素蒸気、非エアロゾルとして) : 200 mg/m <sup>3</sup>	A3 : 確認された動物発がん性因子, 経皮吸収性

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

空気中の有害物質をそれぞれの許容濃度以下に制御し、粉じん、フェーム、ガス、ミスト、スプレーをコントロールするためにも、一般的な希釈換気あるいは局排換気を行う。換気が適切に実施できない場合は、呼吸保護具を使用する。粉塵発生源付近での暴露抑制及び作業区域への粉塵の流入防止のために製造現場に局所排気を準備・提供する。粉塵の除外システム、搬送システム、加工機などの防爆性が必要かを検討する。爆発時の逃し弁、爆発防止、酸素遮断などの必要性を検討する。排気ダクト、集塵機、処理装置など、作業環境へのダスト流入防止システムがあることを確認する。防爆電気機器の必要性について検討する。

### 保護具

## 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
サイドシールド付安全メガネ

## 皮膚及び身体の保護具

ばく露評価に準じた皮膚接触を防止するために、関連した法令で認められた保護手袋・保護衣を選択・使用する。注：保護性を高めるために樹脂ラミネートされた手袋にニトリルゴム製の手袋を重ねてもよい。  
推奨される手袋の材質：樹脂ラミネート。

## 呼吸用保護具

ばく露評価によって保護マスクが必要と判断される場合には、適切なものを使用する。ばく露評価結果に基づいて以下のものから保護マスクを選択する：

半面形もしくは全面形のろ過材付き有機ガス用防毒マスク

特殊な利用に際して、マスクの適合性に疑問があれば、保護マスクのメーカーに相談する。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态：	エマルジョン
色	白色
臭い	わずかな溶剤臭
臭いの閾値	適用しない
pH	7.5 - 8.5
融点・凝固点	データはない。
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	データはない。
蒸発速度	データはない。
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	データはない。
蒸気密度/相対蒸気密度	データはない。
密度	1.2 g/ml
比重	1.2
溶解度	データはない。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分分配係数	データはない。
発火点	>=60 °C [詳細 : CAS 64742-47-8]
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	データはない。
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	データはない。

水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 (JIS-GHSの要求項目ではない)	データはない。
---	---------

**ナノパーティクル**

この製品はナノパーティクルを含有しない。

**10. 安定性及び反応性****反応性**

この物質は、特殊条件下では薬品と反応する可能性がある。このセクションの他の項目を参照する。

**化学的安定性**

安定。

**危険有害反応の可能性**

有害な重合反応は起こらない。

**避けるべき条件**

高せん断・高温時

**混触危険物質**

未確定

**危険有害な分解物****物質**

一酸化炭素  
二酸化炭素

**条件**

特段の規定はない。  
特段の規定はない。

**11. 有害性情報**

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

**毒性的影響に関する情報****ばく露による症状**

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

**吸入した場合**

気道刺激：咳、くしゃみ、鼻水、頭痛、鼻と喉の痛みなどの症状。 その他、以下に記載する健康影響を発現させることがある。

**皮膚に付着した場合**

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。

**眼に入った場合**

製品使用中に眼に接触しても、重篤な刺激が発現するとは考えられない。切断、研磨又は機械加工によって発生する粉じんは眼を刺激する。症状は発赤、腫脹、痛み、催涙及び視力低下など。

#### 飲み込んだ場合

化学性（吸引性）肺炎：せき、呼吸困難、喘鳴、血痰及び肺炎などの症状が発現し、死に至ることがある。胃腸への刺激：腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

#### その他健康影響情報

##### 長時間又は反復暴露した場合：

珪肺症：切迫呼吸、持続性のせきなどの症状。塵肺症：持続性のせき、無呼吸、胸痛、喀痰増加、肺機能検査結果の変化などの症状。

#### 発がん性

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	吸入－粉塵/ミスト(4時間)		利用できるデータが無い：ATEで計算。12.5 mg/l
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シリカ	吸入－粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
石油系溶剤	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
石油系溶剤	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
カオリナイト	皮膚		LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
カオリナイト	経口摂取	ヒト	LD50 > 15,000 mg/kg
水素化軽質石油留分	皮膚	ウサギ	LD50 > 3,160 mg/kg
水素化軽質石油留分	吸入－粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 3 mg/l
水素化軽質石油留分	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000
オレイン酸	皮膚	モルモット	LD50 > 3,000 mg/kg
オレイン酸	経口摂取	ラット	LD50 57,000 mg/kg
グリセリン	皮膚	ウサギ	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
グリセリン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製軽質パラフィン	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
石油精製軽質パラフィン	吸入－粉塵/ミスト(4時間)	ラット	LC50 > 4 mg/l
石油精製軽質パラフィン	経口摂取	ラット	LD50 > 5,000 mg/kg
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	皮膚	非該当	LD50 > 5,000 mg/kg



ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	吸入-粉塵 /ミスト (4 時間)	ラット	LC50 > 5.1 mg/l
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	ラット	LD50 20,000 mg/kg
トリエタノールアミン	皮膚	ウサギ	LD50 > 2,000 mg/kg
トリエタノールアミン	経口摂取	ラット	LD50 9,000 mg/kg

ATE=推定急性毒性

## 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ウサギ	刺激性なし
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
カオリナイト	専門家による判断	刺激性なし
水素化軽質石油留分	ウサギ	軽度の刺激
ソルベント-精製重質パラフィン系石油蒸留物	ウサギ	わずかな刺激
オレイン酸	ウサギ	わずかな刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	わずかな刺激
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	ウサギ	刺激性なし
トリエタノールアミン	ウサギ	わずかな刺激

## 眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ウサギ	刺激性なし
石油系溶剤	専門家による判断	軽度の刺激
カオリナイト	専門家による判断	刺激性なし
水素化軽質石油留分	ウサギ	軽度の刺激
ソルベント-精製重質パラフィン系石油蒸留物	ウサギ	軽度の刺激
オレイン酸	ウサギ	軽度の刺激
グリセリン	ウサギ	刺激性なし
石油精製軽質パラフィン	ウサギ	刺激性なし
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	ウサギ	刺激性なし
トリエタノールアミン	ウサギ	軽度の刺激

## 呼吸器感作性または皮膚感作性

## 皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
石油系溶剤	モルモット	区分に該当しない。
水素化軽質石油留分	モルモット	区分に該当しない。
ソルベント-精製重質パラフィン系石油蒸留物	モルモット	区分に該当しない。
グリセリン	モルモット	区分に該当しない。
石油精製軽質パラフィン	モルモット	区分に該当しない。

	ト	
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	モルモット	区分に該当しない。
	ト	
トリエタノールアミン	ヒト	区分に該当しない。

### 呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いが、分類するに十分なデータが無い。

### 生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
シリカ	In vitro	変異原性なし
石油系溶剤	In vitro	変異原性なし
水素化軽質石油留分	In vitro	変異原性なし
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
オレイン酸	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油精製軽質パラフィン	In vivo	変異原性なし
石油精製軽質パラフィン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vitro	変異原性なし
トリエタノールアミン	In vivo	変異原性なし

### 発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油系溶剤	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
カオリナイト	吸入した場合	多種類の動物種	発がん性なし
水素化軽質石油留分	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
オレイン酸	皮膚	マウス	発がん性なし
オレイン酸	経口摂取	ラット	発がん性なし
オレイン酸	特段の規定はない。	多種類の動物種	発がん性なし
グリセリン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
石油精製軽質パラフィン	皮膚	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	ラット	陽性データはあるが、分類には不十分。
トリエタノールアミン	皮膚	多種類の動物種	発がん性なし
トリエタノールアミン	経口摂取	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。

### 生殖毒性

#### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1世代
シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350	器官発生期

				mg/kg/日	
グリセリン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
グリセリン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,000 mg/kg/日	2 世代
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,666 mg/kg/日	3 世代
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 6,666 mg/kg/日	3 世代
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 5,000 mg/kg/日	器官発生期
トリエタノールアミン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1,125 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
石油系溶剤	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
石油系溶剤	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
石油系溶剤	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	
水素化軽質石油留分	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
水素化軽質石油留分	吸入した場合	呼吸器への刺激	陽性データはあるが、分類には不十分。		NOAEL 非該当	
水素化軽質石油留分	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 適用しない。	
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	吸入した場合	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	ヒト及び動物	NOAEL 非該当	
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	経口摂取	中枢神経系の抑制	眠気又はめまいのおそれ。	専門家による判断	NOAEL 非該当	

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
シリカ	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
カオリナイト	吸入した場合	塵肺症	長期あるいは反復ばく露により組織に悪影響を及ぼす。	ヒト	NOAEL データなし	職業性被ばく
カオリナイト	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	吸入した場合	呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 0.21 mg/l	28 日
オレイン酸	経口摂取	肝臓   免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,250 mg/kg/day	108 週
オレイン酸	経口摂取	造血器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 2,550 mg/kg/day	108 週
グリセリン	吸入した場合	呼吸器系   心臓   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 3.91 mg/l	14 日

グリセリン	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 10,000 mg/kg/day	2 年
石油精製軽質パラフィン	皮膚	造血器系   肝臓   腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ウサギ	NOAEL 5,000 mg/kg/day	3 週
ポリエチレングリコール ソルビタンモノオレート	経口摂取	心臓   内分泌系   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   造血器系   肝臓   免疫システム   神経系   腎臓および膀胱   呼吸器系	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 4,132 mg/kg/day	90 日
トリエタノールアミン	皮膚	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	多種類の動物種	NOAEL 2,000 mg/kg/day	2 年
トリエタノールアミン	皮膚	肝臓	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 4,000 mg/kg/day	13 週
トリエタノールアミン	経口摂取	腎臓および膀胱	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 1,000 mg/kg/day	2 年
トリエタノールアミン	経口摂取	肝臓	区分に該当しない。	モルモット	NOAEL 1,600 mg/kg/day	24 週

### 誤えん有害性

名称	値又は判定結果
石油系溶剤	誤えん有害性
水素化軽質石油留分	誤えん有害性
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	誤えん有害性
石油精製軽質パラフィン	誤えん有害性

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

### 生態毒性

#### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

#### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS水生環境有害性 長期（慢性）区分3：長期継続的影響によって水生生物に有害。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
カオリナイト	1318-74-7	該当なし	分類にデータが利用できない	該当なし	該当なし	該当なし

			い、あるいは不足している。			
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	緑藻類	実験	96 時間	EC50	>100 mg/l
石油精製軽質パラフィン	64741-89-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	>100 mg/l
グリセリン	56-81-5	バクテリア	実験	16 時間	NOEC	10,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ニジマス	実験	96 時間	LC50	54,000 mg/l
グリセリン	56-81-5	ミジンコ	実験	48 時間	LC50	1,955 mg/l
伊利水雲母	12173-60-3	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
オレイン酸	112-80-1	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ポリエチレングリコールソルビタンモノオレート	9005-65-6	カイアシ類	類似コンパウンド	48 時間	LL50	>10,000 mg/l
ポリエチレングリコールソルビタンモノオレート	9005-65-6	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EL50	58.84 mg/l
ポリエチレングリコールソルビタンモノオレート	9005-65-6	ゼブラフィッシュ	類似コンパウンド	96 時間	LC50	>100 mg/l
ポリエチレングリコールソルビタンモノオレート	9005-65-6	緑藻類	類似コンパウンド	72 時間	EC10	19.05 mg/l
ポリエチレングリコールソルビタンモノオレート	9005-65-6	ミジンコ	類似コンパウンド	21 日	NOEL	10 mg/l
石油系溶剤	64742-14-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	EC50	1 mg/l
水素化軽質石油	64742-47-8	ニジマス	推定値	96 時間	LL50	2 mg/l

油留分						
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	48 時間	EL50	1.4 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	緑藻類	推定値	72 時間	NOEL	1 mg/l
水素化軽質石油留分	64742-47-8	ミジンコ	推定値	21 日	NOEL	0.48 mg/l
シリカ	7631-86-9	該当なし	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64741-88-4	ファットヘッドミノウ(魚)	類似コンパウンド	96 時間	LL50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64741-88-4	ミジンコ	類似コンパウンド	48 時間	EC50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64741-88-4	緑藻類	実験	96 時間	EL50	>100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64741-88-4	緑藻類	実験	96 時間	NOEL	100 mg/l
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	64741-88-4	ミジンコ	実験	21 日	NOEL	100 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	液状化	実験	3 時間	IC50	>1,000 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ファットヘッドミノウ(魚)	実験	96 時間	LC50	11,800 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	512 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	609.98 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	緑藻類	実験	72 時間	ErC10	26 mg/l
トリエタノールアミン	102-71-6	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	16 mg/l

## 残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
カオリナイト	1318-74-7	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油精製軽質 パラフィン	64741-89-5	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	22 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
グリセリン	56-81-5	実験 生分解 性	14 日	生物学的酸素 要求量	63 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
伊利水雲母	12173-60-3	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
オレイン酸	112-80-1	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	78 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
ポリエチレン グリコール ソルビタンモ ノオレート	9005-65-6	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	61 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	ISO 14593 生分解性 試験法 (ヘッドスペ ースCO2試験)
石油系溶剤	64742-14-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石 油留分	64742-47-8	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シリカ	7631-86-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベントー 精製重質パラ フィン系石油 蒸留物	64741-88-4	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	22 CO2発生量 /理論CO2発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
トリエタノー ルアミン	102-71-6	実験 生分解 性	19 日	DOC (溶存有 機炭素) 残留 量	96 DOC除去%	OECD 301E類似法

## 生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
カオリナイト	1318-74-7	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油精製軽質 パラフィン	64741-89-5	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
グリセリン	56-81-5	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係 数	-1.76	
伊利水雲母	12173-60-3	分類にデー タが利用でき ない、あるい は不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
オレイン酸	112-80-1	分類にデー	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし

		タが利用できない、あるいは不足している。				
ポリエチレン グリコール ソルビタンモノ オレート	9005-65-6	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
石油系溶剤	64742-14-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
水素化軽質石油 留分	64742-47-8	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
シリカ	7631-86-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ソルベント 精製重質パラ フィン系石油 蒸留物	64741-88-4	モデル 生態 濃縮		生物濃縮係数	7.5	Catalogic <sup>TM</sup>
トリエタノール アミン	102-71-6	実験 BCF - 魚	42 日	生物濃縮係数	<3.9	OECD 305類似法

**土壌中の移動性**

データはない。

**オゾン層への有害性**

データはない。

**13. 廃棄上の注意****廃棄方法**

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

**14. 輸送上の注意****国内規制がある場合の規制情報**

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。（国際連合危険物に該当しない） 取扱い及び保管上の注意欄に述べられている一般的注意に従ってください。



## 15. 適用法令

### 国内法規制及び関連情報

#### 日本国内法規制（主な適用法令）

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）

労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物

労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）

労働安全衛生法：施行令別表第 6 の 2 有機溶剤

消防法：指定可燃物（可燃性液体類）

労働安全衛生法：令和 4 年厚生労働省告示第 371 号 がん原性があるものとして厚生労働大臣が定めるもの

#### 主な法規制物質

#### 労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
石油系溶剤	石油ナフサ	該当	該当
水素化軽質石油留分	ミネラルスピリット（ミネラルシンナー、ペトロリウムスピリット、ホワイトスピリット及びミネラルターペンを含む。）	該当	該当
シリカ	結晶質シリカ	該当	該当
ソルベントー精製重質パラフィン系石油蒸留物	鉱油	該当	該当
トリエタノールアミン	トリエタノールアミン	該当	該当

## 16. その他の情報

### 改訂情報

セクション 1：製品用途 情報の追加.

セクション 1：SAP Material Number 情報の追加.

セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正.

セクション 2：GHS分類 情報修正.

セクション 2：有害性ステートメント - 区分 1 特定標的臓器毒性、反復暴露 情報修正.

セクション 2：健康有害性 情報修正.

セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正.

セクション 3：成分表 情報修正.

セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.

セクション 6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.

セクション 7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.

セクション 8：職業暴露情報 情報修正.

セクション 8：mg/m<sup>3</sup> 記号 情報の追加.

セクション 8：作業環境許容値 情報修正.

セクション 8：保護具 - 眼 情報修正.

セクション 8：ppm 記号 情報の追加.

セクション 8：呼吸器保護 - 推奨する呼吸保護具の情報 情報修正.

セクション 9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.

セクション 9：臭気限界 情報修正.

- セクション 9 : 揮発分 情報修正.
- セクション 9 : 水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション 9 : 揮発性有機化合物 情報修正.
- セクション 1 1 : 急性毒性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 吸引毒性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 発がん性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 1 1 : 標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.
- セクション 1 2 : 水生生物への慢性毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1 4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1 5 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション 1 5 : 法規名 - 表 情報の削除.
- セクション 1 5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**